2025（令和 7）年度 現代文化学部 卒業時アンケート結果

ＩＲ委員会
ＩＲ課

Ⅰ．現代文化学部卒業時アンケート調査の概要

１．目的

1） 学生自身が４年間の現代文化学部における学びを振り返り、現代文化学部の教育、支援及び自己の成長について評価する。

2） 1）の結果に基づき、現代文化学部の継続的な教育改善に役立てる。

２．実施

1） 対象：東京純心大学現代文化学部　2025（令和 7）年度卒業生 14 名

2） 時期：2026（令和 8）年 1 月 24 日（土）

3） 配付・回収方法：2026（令和 8）年 1 月 24 日の卒業論文・研究・制作発表会にて、
ホワイトボードへ掲示を行い、回答。

4） 回収状況：14 名（2025（令和 7）年度卒業予定者 14 名）回収率 100％

３．質問項目

1）ＤＰ（「ディプロマ・ポリシー：卒業認定・学位授与に関する方針）の自己評価について

2）現代文化学部の教育（講義・演習・実習・初年次教育）について

3）現代文化学部の支援について

4）学生の成長について

5）現代文化学部の教育に対する満足度について

Ⅱ　調査結果

１．ＤＰ（ディプロマ・ポリシー：卒業認定・学位授与に関する方針）の自己評価について

			1 身についていない	2 あまり程度身についている	3 どちらともいえない	4 ある程度身についている	5 身についている
ＤＰ１	豊かな感性と教養の土台の上に、保育・教育の高度な知識と技術を身につけ、「こども・からだ・あそび」のキーワードを通して主体的に思考することができる。	豊かな感性と教養	0 (0%)	1 (7%)	0 (0%)	8 (57%)	5 (36%)
		保育・教育の高度な知識と技術	0 (0%)	1 (7%)	1 (7%)	9 (64%)	3 (21%)
		こどものからだ、こころ、あそびを理解して主体的に思考する力	0 (0%)	1 (7%)	1 (7%)	8 (57%)	4 (29%)
ＤＰ２	子どもの幸せと平和の実現のために、多様な背景や文化を持つ地域の人々と痛みや喜びを分かち合い、創造的なコミュニケーションを通して表現できる。	子どもの幸せと平和を願い求める力	0 (0%)	1 (7%)	0 (0%)	5 (36%)	8 (57%)
		地域の人々と痛みや喜びを分かち合う力	0 (0%)	2 (14%)	1 (7%)	7 (50%)	4 (29%)
		創造的なコミュニケーション能力	0 (0%)	3 (21%)	1 (7%)	6 (43%)	4 (29%)
ＤＰ３	保育者としての高度な専門性に裏付けられた「愛に根ざした真の知恵」を持って主体的に判断し、多文化共生社会を生きる子どもたちの命を守り育てることができる。	保育者としての高度な専門的な知識や技能	0 (0%)	1 (7%)	4 (29%)	7 (50%)	2 (14%)
		「愛に根ざした真の知恵」を持って主体的に判断する力	0 (0%)	1 (7%)	2 (14%)	6 (43%)	5 (36%)
		子どもの命を守り育てる力	0 (0%)	1 (7%)	0 (0%)	7 (50%)	6 (43%)

☞　ＤＰの資質・能力に関して、「⑤身についている」、「④ある程度身についている」と回答したものを合わせると、ＤＰ１、ＤＰ２、ＤＰ３共に約 70%を越える結果となった。

ＤＰ達成状況

		1 身についていない	2 あまり程度身についている	3 どちらともいえない	4 ある程度身についている	5 身についている
DP 1	豊かな感性と教養の土台の上に、保育・教育の高度な知識と技術を身につけ、「こども・からだ・あそび」のキーワードを通して主体的に思考することができる。	0 (0%)	3 (7%)	2 (5%)	25 (60%)	12 (29%)
DP 2	子どもの幸せと平和の実現のために、多様な背景や文化を持つ地域の人々と痛みや喜びを分かち合い、創造的なコミュニケーションを通して表現できる。	0 (0%)	6 (14%)	2 (5%)	18 (43%)	16 (38%)
DP 3	保育者としての高度な専門性に裏付けられた「愛に根ざした真の知恵」を持って主体的に判断し、多文化共生社会を生きる子どもたちの命を守り育てることができる。	0 (0%)	3 (7%)	6 (14%)	20 (48%)	13 (31%)

☞「⑤身についている」、「④ある程度身についている」と回答したものを合わせると、「ＤＰ１」が 89%、「ＤＰ２」が 81%、「ＤＰ３」が 79%となっている。

【参考】ディプロマ・ポリシー達成状況（自己評価）とディプロマ・ポリシーに関わる学修評価

		自己評価 Lv. 0-4	学修評価 Lv. 1-4
DP1	豊かな感性と教養の土台の上に、保育・教育の高度な知識と技術を身につけ、「こども・からだ・あそび」のキーワードを通して主体的に思考することができる。	3.10	4.63
DP2	子どもの幸せと平和の実現のために、多様な背景や文化を持つ地域の人々と痛みや喜びを分かち合い、創造的なコミュニケーションを通して表現できる。	3.05	4.41
DP3	保育者としての高度な専門性に裏付けられた「愛に根ざした真の知恵」を持って主体的に判断し、多文化共生社会を生きる子どもたちの命を守り育てることができる。	3.02	4.75

＊自己評価は「⑤身についている」を４点、「④ある程度身についている」を３点、「③どちらともいえない」を２点、「②あまり身についていない」を１点、「①身についていない」を０点として換算
学修評価は、各ディプロマ・ポリシーを達成する必修科目の評価ＧＰの平均

２．現代文化学部の教育（講義・演習・実習・初年次教育）について

		1 不満	2 やや不満	3 どちらでもない	4 やや満足	5 満足
1)	４年間の講義について	0 (0%)	0 (0%)	2 (14%)	6 (43%)	6 (43%)
2)	４年間の演習について	0 (0%)	1 (7%)	0 (0%)	8 (57%)	5 (36%)
3)	４年間の実習について	0 (0%)	1 (7%)	2 (14%)	6 (43%)	5 (36%)
4)	現代文化セミナーについて	0 (0%)	0 (0%)	2 (14%)	5 (36%)	7 (50%)

３．現代文化学部の支援について

		１全く充実していなかった	２充実していなかった	３どちらともいえない	４充実していた	５とても充実していた
(1)	アドバイザーによるサポート・相談について	0 (0%)	0 (0%)	2 (14%)	5 (36%)	7 (50%)
(2)	進路・就職に対するサポート・相談について	0 (0%)	0 (0%)	2 (14%)	4 (29%)	8 (57%)
(3)	卒業論文・研究・制作に対する支援について	0 (0%)	0 (0%)	1 (7%)	6 (43%)	7 (50%)

４．本学での学びや体験を通じた成長について

	１全く成長しなかった	２成長しなかった	３どちらともいえない	４成長した	５大いに成長した
本学での学びや体験を通して、入学時と比べてどの程度成長したか。	1 (7%)	0 (0%)	1 (7%)	5 (36%)	7 (50%)

５．現代文化学部の教育に対する満足度

	１全く満足していない	２満足していない	３どちらともいえない	４満足している	５大いに満足している
現代文化学部の教育に満足しているか。	0 (0%)	0 (0%)	1 (7%)	5 (36%)	8 (57%)